

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)長岡京市開田4丁目PJ	階数	地上13F、地下0F
建設地	京都府長岡京市開田四丁目616番1、6	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、準	平均居住人員	155 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年5月30日
敷地面積	1,829 m ²	作成者	株式会社アクセス都市設計 湯浅勝也
建築面積	562 m ²	確認日	2022年5月30日
延床面積	5,265 m ²	確認者	株式会社アクセス都市設計 湯浅勝也



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 98%

③上記+②以外の 98%

④上記+ 98%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	自然換気が可能な開口部を各住戸に設置し、室内の安全性の面からF★★★★の内装材やノンフロン断熱材を採用した。	その他 特になし
Q1 室内環境	自然換気が可能な開口部を各住戸に設置した。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地や建物の植栽条件に応じた緑地づくりを行った。
LR1 エネルギー	LED照明を採用した。	LR3 敷地外環境 広告照明の設置なし。
	Q2 サービス性能 特になし	
	LR2 資源・マテリアル 内装材にリサイクル材を使用し、資源の有効利用に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される